

## 第 24 回 コムズフェスティバル 市民企画分科会 実施報告書

グループ名	女性と防災の会
開催日時	令和5年2月4日（日） 10:00～12:00
テーマ	あらゆる災害に備えて マイタイムラインを作ろう タイトル：あなたに危機が迫っている！避難のタイミングは今だ！
形式	講話とワークショップ
講師等	講話：松山地方気象台 防災担当官 佐伯 直之 氏 ワークショップ：松山市防災・危機管理課 玉井 崇仁 氏 松山市防災・危機管理課 門田 侑子 氏
参加人数	女性 11名 男性 5名（うち1名 ZOOM 参加） 合計 16名
<p><b>〈内容〉</b></p> <p>1. 松山地方気象台防災担当官 佐伯直之氏の講話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年7月豪雨の被害状況と当時の降水量や警報等の発表状況などを交えたお話から、気象台が発表する防災気象情報の説明があった。防災気象情報は段階的に、防災対策に要する時間を考慮して出されるので、疑わしい時には行動に移すことが大切と話された。</li> <li>・土砂災害などの自主避難に役立てるために気象庁が開発したアプリ「キキクル」を使ったスマートフォン画面操作があり、みな真剣に参加していた。</li> </ul> <p>2. 水中歩行の疑似体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水で水位が上がってからの避難がいかに大変で危険かをとということを、水の入ったペットボトルを足につけて歩行してもらった。浸水深により水圧となる水の量を変化させ、避難リュックを背負ったり赤ちゃんを抱っこしたりして様々な状況の疑似体験を試みた。</li> </ul> <p>3. マイタイムライン作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象台の講話と水中歩行疑似体験で災害をイメージしやすくなったところで、松山市防災・危機管理課職員によりマイタイムライン作成を開始。地域や自宅の危険性をハザードマップで確認したあと避難先や行動を当会手作りのシールを貼ったり剥がしたりしながら自分の避難行動計画を完成させた。また、避難は昼間とは限らないこと、避難に支援が必要な人がいることや避難途中の不測の事態なども想像しておくことが大切だと話された。作ったマイタイムラインは自宅で見直し、避難を迷った時にはこのマイタイムラインが判断のよりどころになりえるとの言葉が印象的だった。</li> </ul> <p><b>〈参加者の感想〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙にてアンケート集計結果を添付</li> </ul> <p><b>〈まとめ〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象庁の「キキクル」の認知度が低いことは意外だったが、この分科会で自ら情報を取りに行くことの大切さに気付いてもらえた。</li> <li>・マイタイムラインの作成の際、行動を書き込むのではなくシールでの実施は初めてだったが、防災に不慣れな方は楽しみながら、詳しい方はシールをヒントに新たな行動を思いついていたのが印象的だった。自分で考えて導き出すことは簡単なようで案外難しい。このシールが欲しいという方や地域で行いたいという声もあった。</li> <li>・水中歩行疑似体験は、「実際に水を使って体験することは難しいし、水ってあんなに圧力がかかるんだ」と水の怖さも感じてもらえた。防災訓練でやってみたいという声も多かった。</li> </ul>	

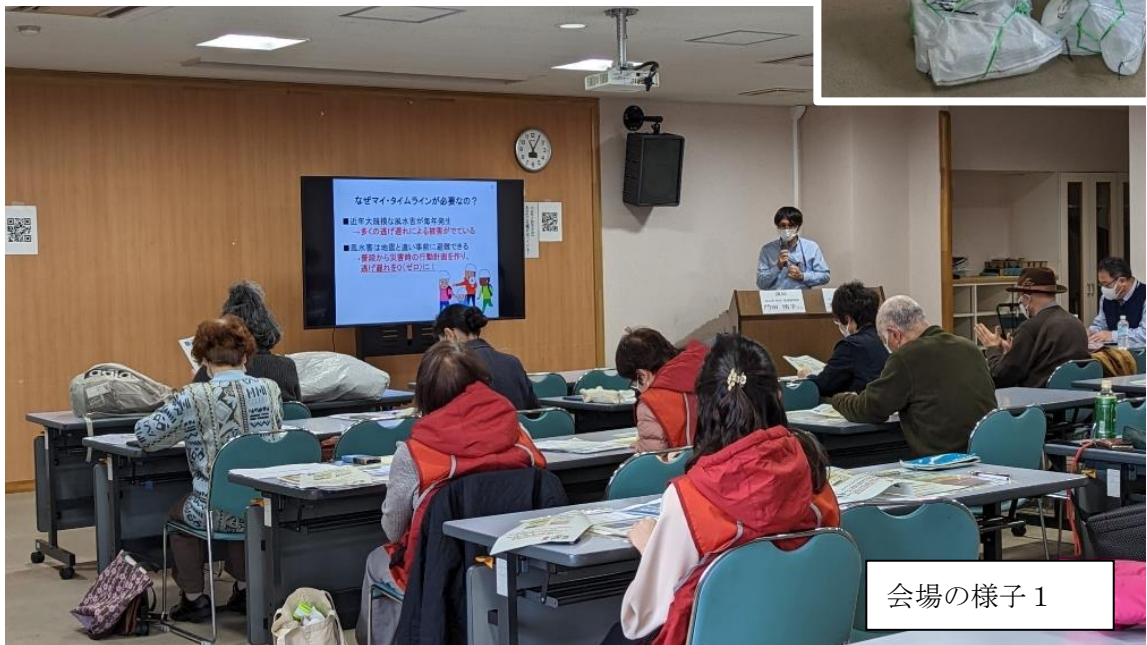
※この報告書は、当財団のホームページに掲載させていただきます



マイタイムライン作成



水中歩行疑似体験



会場の様子 1



会場の様子 2